

アレルギーを患う人たちが、独自の鍼灸技法で症状がなくなったと言っている

***** 動画部分の翻訳*****

(タイトル)

治療に使われている鍼灸技法

アレルギーを扱う独自の方法について、公平に支持者と批判者双方から話を聞いた。リサ・シゲルが報告する。

(音声)

男性アナ: 議論のあるアレルギー治療の問題がある。

女性アナ: そう、それは NAET と呼ばれている。本物だという人がいる一方、完全にはねつける人たちもいる。CBS のリサ・シゲル(の報告)。

グレンデールのテレサ・ハムリンはいわゆる自然愛好家だ。幸福に結婚しており、(犬の)バクスターが彼女の愛児だ。

テレサ: いい子ね。

いい人生だと彼女は言うが、かつては安らかでなかった。

テレサ: 起きたら息ができない。最高に怖い気持ち。

彼女、テレサは小さい頃からアレルギーを患っていた。
気候変化、花粉、砂糖、犬のふけにも。
危険は増えるばかり。

テレサ: 西洋医学はどれも役に立たなかった。ほんとうに強い薬をいくつか投与されたり、吸入を頻繁にし過ぎることもたぶん時々あったり。

それから彼女は、NAET として知られる自然な治療のことを聞いた。

ところが今度は、彼女はアレルゲンから遠ざかっているよう言われなかった。それを持つようにと言われたのだ。

テレサ: 侵襲がないということに、今も何というか魅了されている。服も全部着ていて。

グッドキン: 抵抗して。抵抗して。

これが彼女の施術だ。

患者はアレルゲンの希釈されたびんを持つことで、感受性をテストされる。
もし施術者がテストのどれかに弱さを見つけたら。

グッドキン: アレルギーがないものは強く、あれば弱くなる。(??聞き取れません)

患者はアレルゲンを施術される。

それにはすべてカイロプラクティックと中国医学理念の組み合わせが用いられる。

鍼、鍼灸の押圧、それから。

テレサの施術者、ヴァレリア・グッドキン。

グッドキン: まず最初にベーシックなビタミンやミネラルをテストする。私たちは筋力テスト、キネシオロジーというものを使う。

施術者が言うには、NAET を通して体は防御を構築する。

そして最終的に、今まで患者を病気にしていたアレルゲンは、もうその力を持たなくなる。

グッドキン: 通常、1 つのアレルゲンは 1 回の施術でクリアする。

リサ: 今やアレルギー治療について言えば鍼灸施術は珍しくはないが、この特定の施術について言うなら、誰もが解決するわけではない。実際、批判も出ている。

キャシー・グリーンは、アレルギー・免疫専門医である。

彼女は、もっと臨床的研究がなされなければならない、そして喘息、アレルギーのような危険な状態の患者には、注意が必要だと言う。

グリーン: 学会認定のアレルギー・免疫専門医とともに、血液や可能なら皮膚の検査をして、状態を完全に明確にすることが重要だ。

実際グリーンは、患者がいつも薬を持つよう推奨することに賛成だ。ただ安全のために。

グッドキン: 西洋医学の場所があり、この施術法の場所もある。薬を止めなさいと言ったことなどない。でもそれを必要としないことがわかった人に、必要ないものをとり返しなさいと言おうとは思わない。

グッドキン: 抵抗して。

100%信じているテレサは、数か月吸入器や喘息薬を使っていないが、かつてのようなアレルギーをもう患ってはいないと言う。これもそう。

テレサ: いい子ね。

そして素晴らしい屋外も。

グランデールにて。リサ・シゲル、CBS ニュース。

女性アナ: 自閉症の子供たちを助ける研究もされている。

男性アナ: さらなる情報は CBSLA.com へ。

***** 以下、文章の記事 *****

グレンデール(ロサンゼルス CBS 局 CBSLA.com) -

当地ではじまったある独自のアレルギー施術法が、アレルギー状態を患う人たちを引きつけるようになっている。

地元グレンデールのテレサ・ハムリンのように、アレルギーが人生に及ぼす影響をみんな知り過ぎるくらい知っている。

「起きると息ができなくて、一日中外で遊んでは喘息発作を起こしていたのを覚えている。最高に怖い気持ちだった。」とハムリンは振り返る。

テレサは人生のほとんどをアレルギーに苦しんでいた。ミネソタからフロリダまでいくつかの州に住んで、最後にはカリフォルニアに。しかしどの新天地の州に行っても、彼女の体はそこ特有のアレルゲンに反応した。花粉、砂糖、犬のふけ、いろいろな気候の温度にさえ。

伝統医学を何十年も受けていたが、彼女は良くならなかった。

ハムリンは述べた。「西洋医学はどれも役に立たなかった。ほんとうに強い薬をいくつか投与されたり、吸入を頻繁にし過ぎることもたぶん時々あったりした。」

2010 年、彼女は 1 人の女性に会った。彼女のアレルギーはハムリンよりもっとひどかったのに、それはなくなっていた。

その女性は、自分を救った奇跡は特殊な性質の鍼灸だと打ち明けた。それはナムブドゥリパッドアレルギー除去療法、もしくは NAET として世界中に知られている。

その施術は今では引退している地元の医師が、何十年も前に開発した。

テレサの施術者、ヴァレリア・グッドキンは言う。「まず最初にベーシックなビタミンやミネラルをテストする。私たちは筋力テスト、キネシオロジーというものを使う。もしそれが弱ければ、アレルギーを患っている。もし強ければ大丈夫。マッサージャーを背骨に下へと沿わせて、脳に関してアレルゲンをポジティブにする。それからその後で仰向けにさせて強いことを確認する。鍼が怖いときは、圧でする。」

施術のもっとも難しい部分は、施術を受けたものの施術後 25 時間回避を完全にすることだとグッドキンは言う。

「だから、カルシウムを施術していたら 25 時間厳しい制限食になる。」とグッドキンはやんわり言う。「(患者は)25 時間、食べていいものといけないもののガイドブックを渡される。通常、1 つのアレルゲンは 1 回の施術でクリアする。」

NAET はアレルゲンに対して不都合な反応が少なくなるように、脳と神経網を再プログラム化することによって働く。そのアレルゲンにさらされながら鍼灸を用いることでそれを成し遂げる。患者は、体にネガティブな反応を起こしているかもしれないあらゆるアレルゲンを、びんに入ったその希釈溶液で持つ。

「侵襲がないことに、今も何というか魅了されている。」とテレサは言う。「服も全部着ていて。少し呼吸法をする間に施術している。」

鍼灸施術がアレルギーに広く用いられるようになる一方、NAET にはそれなりの批判もある。

アレルギー・免疫専門医のキャシー・グリーンは、ある治療が臨床的に試されて FDA に承認されるまでは、信頼すべきでないと思っていると言う。

「誰でも、特に NAET を追求する人なら、学会認定のアレルギー・免疫専門医とともに血液や可能なら皮膚の検査で状態を完全に明確にすることが重要で、そうすれば状態の重症さがわかる。」とグリーンは述べた。

「認可されていない治療には、注意する必要があると思う。扱っているものの安全性や有効性の程度が、本当のところわからない。」

患者はいつも薬を持っているべきだということに、グッドキンは同意する。

「西洋医学の場所があり、この施術法の場所もある。」とグッドキンは言った。「薬を止めなさいと言ったことなどない。でもそれを必要としていないことがわかった人に、必要ないものを取り続けなさいと言おうとは思わない。」

そうこうするうちに、テレサは数か月吸入器を使っていないし、喘息の悪化もみていない。施術がすべてを変えた、もう極端な温度や、砂糖や、花粉にさえアレルギーではない、と彼女は言う。

その技法は自閉症の子供たちを助ける可能性についても研究されている。

NAET についてさらなる情報は、ウェブサイトへアクセスを。